

臨床検査部

概要

臨床検査部の機能は、生体検査（生理機能検査）と検体検査の2つに分けられる。生理機能検査は院内職員が担当し、検体検査部門については病理検査、輸血検査、細菌検査、高度先進検査は院内職員が行い、一般検査、血液検査、血清検査、生化学検査は院内ラボに業務委託されている。本年度は、電子カルテのサブシステムとして運用される病理、輸血、細菌、生理、院内ラボの5部門システムについて、主に精度管理、リスクマネジメントを検討し、組織、運用規程がつけられた。今後は、検査のレベルを向上させ、臨床の要望に応えるという課題に限られた人員で取り組まなければならない。

人員構成

臨床検査部長、病理検査室長、病理検査医師、
併任室長（輸血検査室長、高度先進検査室長）
臨床検査技師 19名（定員 15名）（臨床検査技師長、副臨床検査技師長、主任 5名、技師 12名）
非常勤職員 5名
院内ラボ職員 21名（臨床検査部 向井美和子）

臨床検査部研修

研究会開催

2002（平成14）年9月7日 日本小児病理研究会
2002（平成14）年9月21日 小児臨床検査研究会

症例検討会開催

2002（平成14）年 6月7日 関東・東海・東北地区小児病理研究会
2002（平成14）年 10月4日 関東・東海・東北地区小児病理研究会
2002（平成15）年 2月21日 関東・東海・東北地区小児病理研究会

臨床病理カンファレンス

CPC（集中治療科症例）

2002（平成14）年 7月29日、9月30日、10月28日、12月2日、
2002（平成15）年 1月20日、2月17日、3月17日

腎臓カンファレンス

2002（平成14）年 10月18日、

婦人科細胞診カンファレンス

2002（平成14）年 8月29日、10月17日、11月5日、12月12日
2002（平成15）年 1月27日、2月26日、3月26日

小児腫瘍カンファレンス

毎月2回参加

胎児診療カンファレンス

毎週月曜日参加